

ご縁を結ぶ九頭龍神社



高知県トラック協会にて 特車確認制度講習会を開催

2022年4月1日より特殊車両通行許可申請制度に加えて新たに「特殊車両通行確認制度（以下、特車確認制度）」の運用が開始されています。2022年5月18日に、高知県トラック協会にて特車確認制度についての講習会を開催し、21名の方にご参加いただきました。

講習会の内容

講習会は2部構成で行い、第1部で特車確認制度の概要、許可制度と比べた場合のメリット・デメリットをお伝えしました。参加者からは、「特車確認制度は、個別審査箇所や未収録路線が含まれない場合にのみ利用できるため、自社では活用が難しい」という声もいただきました。確かに今回の特車確認制度が利用できるケースは全体の2～3割程度ではありますが、条件に当てはまった場合に即時に通行ができるというメリットもあります。多少コストが増える点を許容できれば、急ぎの案件等での利用は十分にあり得ると私は考えています。

第2部では実際の申請方法について画面キャプチャを用いながら解説し、確認結果を記載した回答書を見ていただきました。また、回答書の様式が今までの許可証とは異なるため、チェックすべきポイントを重点的に紹介しました。



高知県トラック協会の取組

高知県トラック協会専務理事の西村様とお話する機会をいただきました。西村様は初対面の私をあたたく迎え入れてくださり、話しぶりから懐の広さが感じられる方でした。西村様は次におっしゃっていました。「会員にとって有益な研修会やセミナーを積極的に行っています。他のトラック協会に比べて企画数は多いかもしれません。すべては会員のためです」。私自身、今回の講習会で21名という参加者数の多さに驚きましたが、参加してくださった皆さまがメモを取りながら、真剣な様子であったことに更に感心しました。会員運送事業者を一番に考えている高知県トラック協会と会員運送事業者との信頼関係を垣間見ることができました。



GWは箱根まで足を伸ばし、毎年恒例となっている九頭龍神社への参拝を行いました。芦ノ湖の畔にある小さな神社ですが、商売繁盛や縁結びにご利益があり、関東のパワースポットとしても有名なので多くの参拝客で賑わっています。弊社と貴社のご縁も九頭龍様が引き合わせてくれたと考えております。



このお水は「龍神水」と呼ばれ、口に含むと不浄を清め運氣が上がるといわれています

また、訪れると不思議と心が浄化される気分になります。これは言葉ではなんとも表現しがたいのですが、心が軽くなる感じに近いものがあります。

九頭龍神社は、その由来も興味深く、古い伝説によると、芦ノ湖に住む9つの頭を持つ毒龍が嵐を呼び村人を苦しめていたが、苦しむ村人たちを助けたい思いに駆られた奈良時代の高僧「万巻上人」が毒龍を倒し、その後改心した毒龍が龍神となったのを祀ったのが始まりとされています。

箱根にお立ち寄りの際は、是非、足を運んで効果を実感してみてください。



九頭龍神社新宮の鳥居です。箱根神社の横にありますが、併せてお参りするとより運氣が上がるといわれています



IT業界の企業として、 物流業界の業務課題改善をサポート

株式会社ファーストアクセス 代表取締役 野村拓郎 様



2回目となる「このあたり企業紹介」では、ETCカードに関する管理システムの開発やASPサービスを提供する株式会社ファーストアクセスの野村社長にお話を伺いました。

IT×運送業界に参入したきっかけ

佐久間 今の会社を設立するきっかけを教えてください。

野村 大学時代は法学部に在籍しており、司法試験合格を目指していました。しかし、大学を卒業後の1999年頃IT業界が俄かに盛り上がりを見せてきたので、心機一転IT業界に身を置き、独立起業を目指しました。初めは、転職情報誌に掲載されていたベンチャー企業の社長さんに飛び込みで面接をしてもらい、しばらくの間は無給で雑用でもいいからおいてくれと頼みましたね(笑)。

その後、1カ月で正社員に登用され、システム、広報、営業へと職種を転換していき、2001年に個人事業主として開業、2005年に現在の(株)ファーストアクセスを設立しました。

佐久間 飛び込みで面接してもらうという例は聞いたことありませんね。すごい行動力です！IT業界の中でもETCカードの管理システムとはなかなかニッチな分野ですね。どうしてここに着目したのですか。

野村 ETCカードを管理する協同組合の理事長さんからETCカードの制度が大きく変わるためシステム開発をお願いできないかと打診されたことがきっかけです。当初は、この協同組合様へのシステム提供を行っていましたが、全国の組合が

困っているだろうとの着想を得て現在のサービス展開に至りました。

高速料金見直しで コストカットが可能

佐久間 具体的に御社のサービスはどのようなものですか。

野村 主に、①ETCカード管理システムの開発・提供、②組合ETCカード管理事業の業務受託、③運送会社向けコーポレートカードの発行・管理業務を行っています。

ETCカードの管理コストは意外に高いものです。マイレージポイント取得の為に手数料としてクレジット会社へ毎月支払っている費用を正しく把握して見直すだけでも、毎月十数万円のコスト削減につながることであります。また、後継者問題に悩んでいる協同組合様も多いことから、ETC事業をまるごと弊社で受託させていただいているケースもあります。

佐久間 コストの見える化と削減がポイントですね。どんなお客様にサービスを利用させていただきたいですか。

野村 ETCカードについて車両毎の利用明細管理等のニーズがあれば是非相談していただきたいです。ETCカードのコンサルティング業務を行っておりますので、今の利用料金が適正かどうか(適切な割引を

高速料金の見直し
コンサルティングは
こちら

株式会社ファーストアクセス



得られているか)の判断もできます。多くのお客様の高速利用明細を拝見してきましたが、もっと沢山の割引を得られるはずなのに、知らないが故に高い料金を支払っている事業者さんが多いという印象です。高速道路利用はドライバーの労働時間削減の観点からも重要なので、少しでも多くの割引が受けられるよう支援していきたいと思っております。少しでも安くないかな?のレベルでも是非相談してください。また、車両制限令違反等で組合を退会せざるを得ない場合もご相談いただければ組合を経由せずにコーポレートカード発券のお役に立てると思っております。

佐久間 コーポレートカードを使用していないと高速料金が膨大になりますね。事業者によっては高速料金を輸送依頼者へ価格転嫁できていない例もみられます。燃料費はコントロールすることが難しいですが、高速料金からコツコツ削減していくことは収益の拡大につながりそうですね。

取材後記

運送業界は他の産業と比べるとデジタル化やIT化があまり進んでいないと言われております。野村社長は早くからIT×運送業界の構図を見据えて行動に移したのだと感じました。業務効率化、コスト削減は、運賃が引き上げられない業界事情のなかでは必須課題であり、2024年問題を前に各運送事業者が対応に苦心している部分だと思います。コスト削減の

1丁目1番地として、高速料金見直しは運送事業者にとっても取り組みやすいテーマではないでしょうか。当たり前の話ですが、利益を拡大するためには売上を拡大するか、コストを削減するかしかありません。後者に着目し、運送事業者の収益拡大に貢献したいという想いが野村社長から感じることができました。(佐久間)